

KILL SHOT

導入

対テロ作戦の世界によろこそ。世界でもっとも危険なテロリストを識別し、追跡し、排除することがあなたの任務だ。

セットアップ

110枚のカードを、100枚の戦術デッキと10枚のテロリストデッキに分けること。戦術デッキをシャッフルし、それぞれのプレイヤーに6枚のカードを、伏せたまま配る。カードをテーブルへ置いたままにしておき、中身を見ないようプレイヤーに告げる。残る戦術デッキは伏せた状態で、テーブルの中央に置いておく。いちばん上のテロリストカードをめくること。このテロリストが、最初の目標となる。



勝利

テロリストカードのポイント (Value) を合計して、もっとも高ポイントを獲得したプレイヤーが勝利する。

ゲームのプレイ

これは実際の銃撃戦のように、白熱したアクションによるスピード勝負のゲームだ。このゲームに「手番」はなく、素早い反応こそが要求される。可能なかぎり素早くカードをプレイすること。

ゲームの開始にあたっては、いずれかのプレイヤーが「3、2、1、ゴー！」のカウントダウンを行うこと。すべてのプレイヤーは自分のカードを取り、素早くテーブル中央の「搜索パイル」にカードを置いていく。

それぞれのカードには、数字の1 (Global) から9 (Kill Shot) までの「搜索値」 (Hunt Number) が書かれている。ゲームは、いずれかのプレイヤーが1のカード (Global) を置くことで開始される。そののち、各プレイヤーは1または2 (Satellite) カードを置くことができる。2のカードが置かれたら、以降は2または3 (Region) のカードしか置くことができない。

カードを置く際には、その名前を大きな声で宣言すること。

ゲームはいずれかのプレイヤーが8 (Firefight) を置くまで続けられる。いったん8のカードが置かれたら、8または9 (Kill Shot) のカードのみ置くことができる。



最初に9のカードを置いたプレイヤーが、搜索を終えてテロリストカードを捕捉する。戦果として、テロリストカードを自分の前に置いておくこと。搜索は終了し、新たな搜索の準備に取り掛かる。なおプレイヤーは、望むタイミングで捨て札と新たなカードの補充を行える。ただし、6枚を超える

手札を持つことはできない。捨て札は、検索パイルとは別にテーブルの中央に置いておく。捨て札と補充を実施する際には、「リロード！」と大きな声で宣言すること。

戦術デッキの最後のカードを引いたら捨て札パイルを裏返し、新たな戦術デッキとする。このとき「援護しろ！」と大きな声で宣言すること。

新たな検索の準備

新たな検索の準備は、以下の手順で行う。

各プレイヤーは、手札に残るカードを捨て札とする。すべての戦術カードをシャッフルし、新たなデッキを作成すること。

それぞれのプレイヤーに 6 枚のカードを伏せたまま配り、次のテロリストカードをめくる。

このようにして、10 枚のテロリストカードそれぞれの検索を実施すること。

ゲームの終了

10 回の検索が終了した時点で、もっとも多くのテロリストポイントを獲得したプレイヤーが勝利する。

テロリストカードの説明文

一部のテロリストカードには、特別な能力が記載されている。これらのルールは、通常のルールまたはオプションルールに優先するものだ

特殊カード

不正確な情報 (Bad Intel)

このカードをプレイする際には、「戦闘停止！」と大きな声で宣言すること。「不正確な情報」カードが使用されたら、すべてのプレイヤーは手札をテーブルに伏せて置かなければならない。検索パイルの上から 2 レベル分のカードを取り除き、あらためて「3、2、1、ゴー！」の掛け声でプレイを再

開する。検索の終了時において、捨て札にされたカードのポイントは計算の対象とならない。

例: 直前にプレイされたカードが検索ナンバー5 だった場合、検索パイルから 5 と 4 のカードすべてを取り除く。

ジャム (Jam)

このカードをプレイする際には、「ジャム！」(排莢不良!) と大きな声で宣言すること。このカードを使用されたプレイヤーは、他のプレイヤーに聞こえるような大きな声で「叩く、引く、リリースする、押す、絞る」と言わなければ、カードをプレイできない。

(訳注: マガジンを叩く、チャージングハンドルを引く、チャージングハンドルをリリースする、ボルトフォワードアシストを押す、トリガーを絞るという、排莢不良時の操作手順を指す)

「タクティカル・エンゲージメント」 ゲームタイプ #2

これは、2 通り目のゲームプレイ方法である。以下の点を除き、これまでに解説したものと同じルールを使用すること。

戦術デッキをカードの色別に分け、各プレイヤーに 1 セット 20 枚の、同色のカードを配る。プレイヤーは自身の 20 枚のカードをシャッフルし、伏せたままテーブルに置いておく。次に、各プレイヤーは自身のデッキから 6 枚のカードを手札として取り、中身を見ないように伏せたままテーブルに置く。ゲームは、通常の方法で開始すること。プレイヤーがデッキのカードを使い切ったら、自分の捨て札をシャッフルして新たなデッキを作る。

Kill Shot カードがプレイされたら、プレイヤーは自分が置いた戦術カードの「得点値」(Value) を合計する。このとき、捨て札は計算対象としない。もっとも多くのポイントを得たプレイヤーがテロ

リストカードを獲得し、表向きにして自分の前に置いておく。同点だった場合、もっとも低い検索値の戦術カードを使用したプレイヤーが勝利する。

「シチュエーションルーム」

ゲームタイプ #3

これは、3通り目のゲームプレイ方法である。これは手番ごとにプレイするゲームであり、スピード勝負のゲームではない。

ランダムに最初のプレイヤーを決め、その後は勝者が決定するまで、テーブルを時計回りにプレイしていく。

このゲームは、共通のデッキを利用して最初に Kill Shot を使用したプレイヤーが勝利する方法でプレイしても良いし、あるいは「タクティカル・エンゲージメント」と同じくカードを分けて、戦術カードの得点値をもっとも多く得たプレイヤーが勝利する方法でプレイしても良い（捨て札は計算対象としない）。

各プレイヤーは 9 枚のカードでゲームを開始し、最大で 9 枚までの手札を持つことができる。自分の手番においては、検索パイルのいちばん上に置かれたカードの数字より「1 大きい」、「1 小さい」あるいは同じ数字のカードをプレイできる。

なお自分の手番において、可能ならば複数のカードを同時に使用しても良い。またカードを使用する代わりに任意の枚数のカードを捨て札とし、手札を補充しても良い。ただしカードの使用と捨て札／補充を同じ手番で行うことはできない。

「ジャム」と「不正確な情報」カードに記載されたテキストは無視すること。これらのカードを他のプレイヤーに対して使用すると、そのプレイヤーの手番を（たとえカードをプレイする前であっても）直ちに終了させることができる。

オプションルール

これらのルールは、3通りのプレイ方法のいずれにおいても、自由に組み合わせて使用できる。ただし使用にあたっては、ゲーム開始前にすべてのプレイヤーが同意しなければならない。

ブリーフィング

「3、2、1、ゴー！」の掛け声でゲームを開始する前に、初期手札を確認して準備できる。

デッドライン

カードを色別に分ける。各プレイヤーは 1~9 までのカード 1 枚ずつに加え、任意の 3 枚のカードを手札に加えてゲームを開始する。ゲーム中にカードを補充することはできない。誰も Kill Shot をプレイできなかった場合、テロリストは逃亡しポイントを得ることはできない。

タリバン

カードを色別に分け、1人のプレイヤーがテロリストの味方となる。テロリスト側プレイヤーは検索パイルのいちばん上に置かれたカードと数字が同じか、あるいは「1 小さい」カードをプレイできる。

例: 現在の検索パイルに置かれたカードの数字が 7 ならば、テロリスト側プレイヤーは 7 または 6 の数字をプレイできる。

夜間任務

プレイヤーは自身の戦術カードをテーブルに伏せたままにしておくこと。ゲームの間、プレイヤーはいちどに 1 枚のカードだけを見ることができる。なお、新たに補充したカードも伏せて置くこと。

ワンショット、ワンキル

プレイヤーは、検索パイルのいちばん上に置かれたカードと同じ数字のカードをプレイできない。

テロの脅威

1枚ではなく、3枚のテロリストカードをめくる。プレイヤーはどのテロリストに対してカードを使用しても良い。テロリストごとに、個別の捜索パイルが作られる。すべてのテロリストが捕捉されるか、どのプレイヤーもカードを置くことができなくなるまでゲームを続けること。「不正確な情報」カードはいずれか1つの捜索パイルにのみ影響を及ぼす。

カード解説

No Special ability.

特殊効果なし

The player who claims...

このカードを獲得したプレイヤーは、手札に2枚追加して次の捜索を行う。

The second Kill Shot...

2枚目の Kill Shot がプレイされた時点で捜索が終了する。

Start with 2 less cards...

手札が2枚少ない状態で開始し、手札上限も2枚少なくなる。

All players must...

戦闘停止が宣言されたら、すべてのプレイヤーはカードを1枚捨てなければならない。

Discard 1 card when...

特殊カードを使用するごとに、カードを1枚捨て札にすること。